

第 1496 回例会報告

平成29年3月2日(木)曇り

会長挨拶

会長 河西達雄

IMのご協力に「感謝」

2月26日日の IM(インターシティミーティング)の開催に際しまして、多くの方のご協力をいただき成功裏に終わることができ、心から感謝申し上げます。

まずもって、全体を統括していただいた三村昌暉実行委員長には本当にご苦労様でした。心から御礼申し上げます。そして陰に陽に、このIMのすべてを支えていただいた大澤ガバナー補佐には、まさに「感謝」以外の言葉が見つかりません。

会長とはある意味楽なもので、大会当日をほとんど動きを知ることもなくのほほんと迎えました。当日となり全容が急に増えてきて、その大会の規模の大きさに改めて驚きました。

会場の設定に始まり、お客様やメンバーの受付、友愛の広場の運営、記録などに多くの方が関わりスムーズに事が運んでまいりました。

例えば、前日に余分な駐車場の確保が必要と分かった時に当日の朝、若手の宮坂、小笠原員、

森山、宮沢会員などが率先して寒空の下に出向いていただきました。

友愛の広場は、高林委員長の差配の元奥様方の協力を得て大いに活用され、コーヒーなどは予定を上回るオーダーがありうれしい誤算でした。友愛の広場には、講演会聴講に見えられた一般のお客様も沢山寄せられゆっくと楽しまれており、想定外とはいえロータリーのイメージの向上に役立ちました。

平山、長崎会員を中心に会場設営や記録も無事終わりました。現在素材の整理に入っておりますが、今後まとめと報告書の作成が待っていますのでよろしくお祈いします。

会場関係ではただ一つ諏訪大社RCの会長、幹事名が間違えておりましたが、これは本年度事業計画書に記載された名簿が間違えていたため、その訂正の記載を徹底しなかった私の責任で申し訳なく思っています。この事も太田幹事が正しい名簿を持っており、実行委員長の素早い対応で事なきを得ました。

また後から記録を拝見すると、私たちの知らないところで講師の野口さんのミニエクスカーションが行われており、北原、小林会員が案内をなさつ

■出席報告

会員数	37名
出席対象	37名
出席者数	29名
出席率	80.6%
前回修正	91.7%

■ニコニコBOX

7名	22,000円
累計	390,300円
目標額	60万円
達成率	65.1%

■今週のことば

立派なIMができ心から感謝申し上げます
河西達雄

IM開催に大変お世話になりました。おかげさまでよい評価をいただきました。会員の皆様に心から感謝申し上げます。

大澤邦彦

明日で77歳になります。喜寿です。今年1年喜寿を感謝しながら頑張ります
林洋三

確定申告で、RCでいただいた寄付証明書を提出しましたら予想以上に差し引かれました。ありがとうございました。
岩村亀夫

娘が2番目の子供の切迫流産の恐れで入院していましたが無事退院。して家に来ました。1月から長男を預かっていたので我が家は大変にぎわっております。

4月なかばが出産予定のため交換留学生4番目のホストと重なり努める事はできなくなりました。

誠に申し訳ございませんが、どなたか交代して下さい。

御子柴文夫



ていました。

まだまだ多くの会員に支えられた大会の成功に再度心から「感謝」を申し上げます。

3月2日の会長挨拶ではあがってしまい、多くの御礼を言い忘れ失礼いたしましたので改めて記載させていただきました。

◇幹事報告◇

【連絡事項】

1. PETS(会長エレクト研修会)や次年度地区協議会の連絡が次々と来ています。高山会長エレクトをはじめ、次年度役員の皆様ご苦勞様です。

Happy birthday 



今月の誕生日は林洋三会員と北原厚子会員でした

第 1496 回例会

健康診断と健康卓話

担当 職業奉仕委員会

本日は恒例の健康診断でした。まず11時30分より別室にて小笠原会員と平山会員の協力により健康診断が行われ、採血などが行われました。受信なされた方が健康であることを心よりお祈りいたします。



長崎会員は注射が苦手なのかな？

続いて近江会員による健康卓話が行われました。

歯の健康と生活習慣病

近江誠一会員

日本人の平均寿命は男性80.8歳女性87.1歳です。それにくらべて健康寿命は男性がそれよりマイナス9年女性がマイナス12年です。

健康寿命をさらに延伸させるためには生活習慣病にならないよう改善に努め、より健全な心身になるよう気を付けなければなりません。

付け加え口、歯の健康度を向上させなければなりません。

特に歯周病は全身に細菌が回って、様々な臓器障害を起しし障害を増幅させることが解ってきました。一層歯の清掃に努めましょう。



8020運動

- 日本人の歯・口の健康は、この30年の間に大きく改善してきました。生涯にわたって食べることに苦勞しないためには、むし歯や歯周病で歯を失くさないことが大切です。
- 8020運動は1989年(昭和元年)にスタート。達成した人は40%を超え開始時の6倍に。
- 歯の数が十分あれば、多く失くした人より生存率が1.1倍～2.7倍高まります。平均寿命の延びに関わっている要因の一つです。



治療前は、歯周病で歯肉がぶよぶよにはれていました

治療で回復した口のなかの健康を、ずっとたもっています！



治療が終わって22年後です。毎日の歯みがきをきちんとし、規則正しい生活を送っているため、お口のなかがいっまでも健康です。もちろん、定期検診もちゃんと受けています